みんなの議会 おおさと

定例会

12月 3月 6月 9月

町花：つつじ

令和８年11月１日

No.224



「人生の先輩」とともに

（和太鼓 幸）

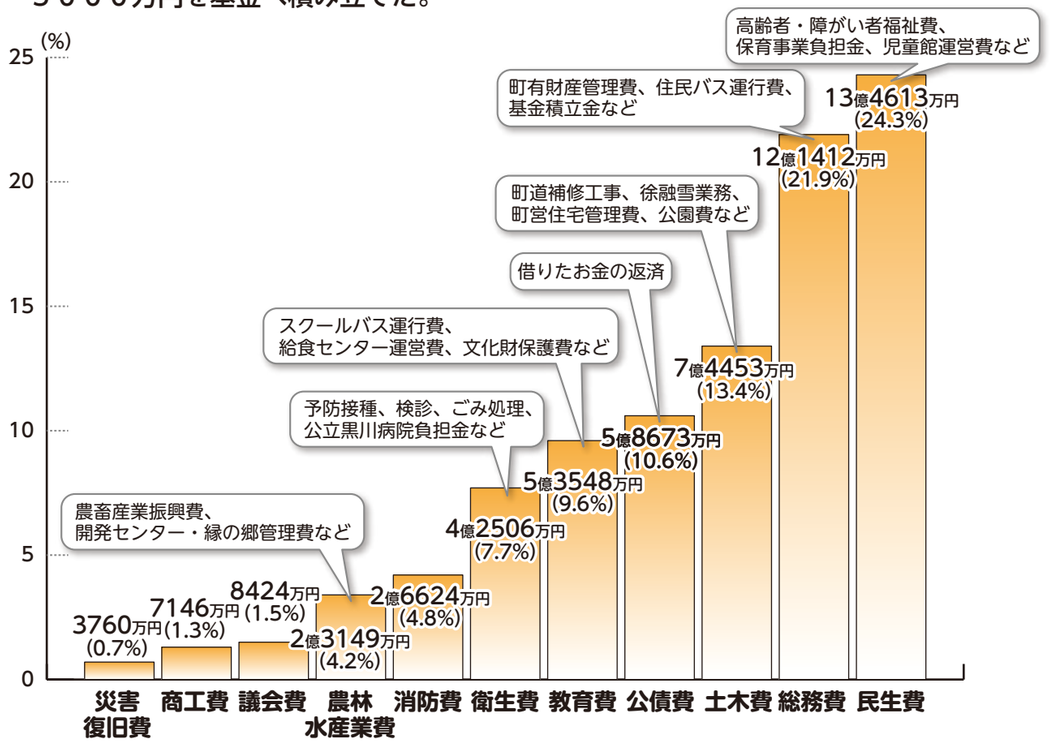
p.2　令和７年度決算
p.6　町へ意見・提言
p.12　１１名が町政を質す（一般質問）
p.27　追跡リポート

令和７年度 一般会計 決算

物価高騰対策、復興、子育て支援

令和８年第３回定例会は、９月３日から18日までの16日間の会期で開かれた。令和７年度決算を審議し、一般会計、４つの特別会計および水道・下水道事業を含む、総額87億円の決算を認定した。（採決結果一覧はP９・P12に掲載）

令和７年度一般会計の決算は、前年度より歳入が８億９８６９万円減、歳出が８億８２６１万円減となった。また、歳入歳出差引額は４億７８６９万円で、うち３億５０００万円を基金へ積み立てた。



一般会計 歳出 55億4309万円

（翌年度繰越額4億5816万円）

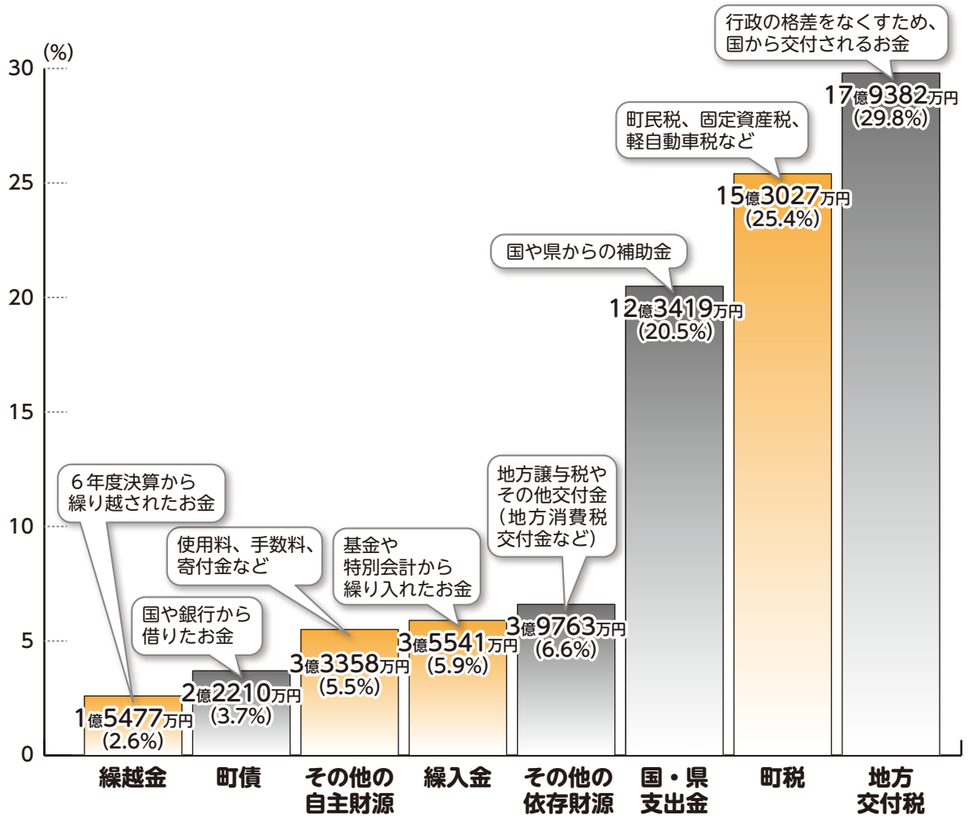
●各種会計歳出決算額●

会計別		令和７年度決算
一般会計		55億4309万円
特別会計	国民健康保険	9億760万円
	介護保険	12億2543万円
	後期高齢者医療	1億2385万円
	宅地分譲事業	2287万円
水道	収益的支出	2億7785万円
	資本的支出	1億4552万円
下水道	収益的支出	3億8249万円
	資本的支出	1億6732万円
合計		87億9603万円

※１万円未満は四捨五入

主な事業

●価格高騰支援給付金	1206万円
●物価高騰対応子育て応援手当	2799万円
●生活応援商品券発行事業	2276万円
●復興まちづくり事業	2億4298万円
●給食センター外壁改修工事	3017万円
●こども園、小・中学校バス運行経費	5905万円
●こども園保育料・給食費無償化事業	2061万円
●住民バス運行経費	5375万円



一般会計 歳入 60億2178万円

依存財源
国・県・借入金に頼ったお金
36億4775万円

自主財源
町自らが収納・徴収できるお金
23億7403万円

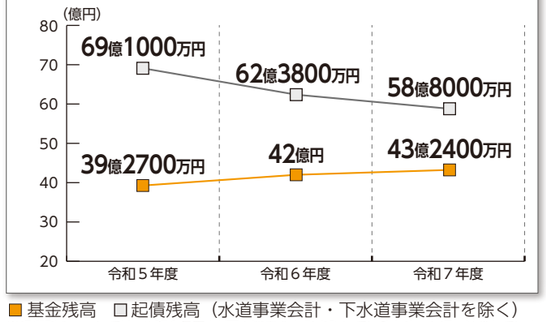
町民１人当たりの預金と借金

借金 81万4千円

預金 57万2千円

預金は各種基金、借金は町債としています。
令和７年度末の人口で算出しています。
（水道事業会計・下水道事業会計を除く）

基金残高・起債残高の推移



■基金残高 □起債残高（水道事業会計・下水道事業会計を除く）

※起債残高については、令和６年度より下水道事業会計を除いているため、大幅に減少しています。

一般会計・特別会計・事業会計予算

徹底検証

令和７年度の決算を審査するため、特別委員会を設置し、６日間にわたり各課ごとに質疑応答を行い、慎重審議・検証しました。

本会議では委員会審査報告の後、一般会計および各種会計を認定しました。



佐々木和夫 委員長

安全・安心な生活環境を

農村地域防災減災事業

問 **どのような支出か。**

答 町内６カ所の排水機場に対する維持管理にかかる費用である。

鳥獣被害防止補助金

問 **補助の内容は。**

答 個人20件、法人２件から申請があり、ほとんどが電気柵の購入補助である。

橋梁（きょうりょう）の定期点検

問 **点検の概要は。**

答 5年に1回の頻度で、町内の37橋梁について実施。全ての橋梁がレベルⅡ（予防保全段階）と診断された。

防犯灯

問 **設置要件に満たない場所への対応は。**

答 要件に満たない所についても柔軟に対応していく。

庁舎建設基金積立

問 **目標額を10億円としているが、不足はないのか。**

答 庁舎建設事業が事業化された際は、庁舎建設基金の他に公共施設整備基金の活用や地方債の発行も検討できる。

住宅分譲地

問 **町内に分譲地がない。**

答 町有地の活用が考えられるので、選定していきたい。若い世代の転入が増えており、近隣自治体の例も確認していく。

老人ふれあいの家

問 **今後の見通しは。**

答 隣接する温泉施設の再開は見込めない。駐車場を明け渡し後に、解体を検討している。

公園の管理

問 **倒木の可能性がある場合、どこが管理するのか。**

答 立木の伐採は、町で確認しながら必要な処理を行う。

河川・ため池水質検査

問 **検査の結果は。**

答 河川は年1回、ため池は年2回検査を実施しており、水質に異常はない。



▲安全で明るい公園づくりへ（築館公園）

生活の利便性向上を

水道料金

問 **使用量が少ない世帯もある。基本料金を細かく設定してほしい。**

答 料金改定支援業務で、検討対象としている。



▲利用者の負担軽減を

かわまちづくり

問 **事業の必要性は。**

答 町を盛り上げていくためには何が必要か、河川敷の取り扱いをどうするか等を加味しながら、協議会も含めて議論している。

保育料無償化事業補助金

問 **町外の施設に預けている場合は。**

答 子ども子育て支援法に関連する保育施設を利用の場合、補助の対象となる。

給食センター

問 **賄材料費について物価高騰の影響は。**

答 多少の影響があった。栄養士は、栄養価等も考え、比較的扱いやすい食材を選んでいる。

女性防火クラブ

問 **各地域での活動を継続してもらうように対応を。**

答 なり手不足の時は、地域の自主防災活動として継続していただくようお願いしていく。

心のケアハウス

問 **不登校問題について、PTA・教育委員会と情報を共有する組織はあるか。**

答 正式な組織はないが、ケアハウスでは親の会を開催しており、職員と保護者で情報共有を行っている。



▲子どもたちの未来を「考え・支え合う相談拠点」

住民バス

問 **土日も運行してほしいとの要望がある。**

答 ニーズがあることは把握している。公共交通協議会の中で検討していく。

税金の納付書

問 **「納期限」と「使用期限」の記載があり、分かりにくい。**

答 「納期限」のみとする方向で検討している。

町当局へ14項目の意見を提言

改善 適正な補正対応を

不用額の抑制と適正な補正対応を図られたい。

問　令和７年度の不用額は約３億5,000万円。不用額を出さない決算になるように、今後もさらに強化をしていただきたい。

答　令和８年度の決算、令和９年度当初編成など予算の精査に向けて、進めていきたい。

強化 大郷牛の消費拡大を

大郷産牛の消費拡大の周知方法について検討されたい。

問　道の駅で定期的に大郷牛を販売することも考えてほしい。

答　道の駅でも売れるかは、課題として整理ができていない。販売促進につながるような取り組みを考えていきたい。

推進 森林環境譲与税の活用

森林環境譲与税の活用を図られたい。

問　森林環境譲与税の活用について、令和７年度はどのように検討してきたのか。

答　森林整備の促進や担い手を確保し、育成を図るには、今の原資では足りない。他町村の動向を見ながら考える。

強化 有収率の向上

引き続き、有収率の向上に努められたい。

問　水道管の漏水等調査の結果、漏水箇所は何件で、修繕は。

答　漏水箇所は、個人宅内が１件、道路上が３件あったが、修繕を完了している。

推進 無形文化財の継承

無形文化財の継承に努められたい。

問　羽生田植踊と宮林神楽を継承していくプランは。

答　両無形文化財に関しては、休止状態である。今後の継承に向けて、子どもたちに実際に踊って覚えていただく機会を増やせたらと考えている。

改善 縁の郷・ふれあい農園の利活用

「縁の郷」や「ふれあい農園」の利活用について、方向性を示されたい。

問　ふれあい農園の利用者が１名となっている現状について、どのように考えているか。

答　個人としての利用は厳しい。法人や団体と交渉してきた経緯があり、前に進めていきたい。



推進 奨学資金貸付金の回収

奨学資金貸付金の回収を引き続き努力されたい。

問　奨学資金貸付金の収入未済額が280万円となっているが、理由は。

答　卒業後の就職活動等がうまくいっていないケースが多いことが原因。保証人と相談し、未済額を減らす努力をしていく。

推進 歴史資料等の活用

歴史資料等の活用を図られたい。

問　歴史資料等の有効な活用について、今後も検討を。

答　まだまだ把握できていない価値のあるものはたくさん残っていると思う。今後も整理業務を進め、発表展示等に活用していきたい。

推進 開発センター 物産館の管理

「開発センター」「物産館」の管理・指導を徹底されたい。

問　開発センター管理の委託料として510万を支出している根拠は。

答　開発センターでの歳入歳出を計算し、その差額分を管理費として計上している。



強化 ふるさと納税 寄付増収を

ふるさと納税のＰＲ方法など工夫し、寄付金の増収を図られたい。

問　寄付金の増額に向けた対応が必要。どのような施策があるか。

答　町や返礼品を知っていただく機会を設けることが大事。新規寄付者を募る施策を進め、リピーターになっていただく事業展開を検討している。

推進 各種災害への対応

各種災害に対応できるよう組織改革並びに必要備品について整理されたい。

問　国の交付金等を活用して、快適な避難所環境の整備と備品の充実を図ってほしい。

答　より良い形での避難所環境は必要。備品等も確認しながら必要なものは購入していきたい。

推進 団員、隊員の加入促進

消防団員・交通指導隊員の加入促進に努められたい。

問　消防団員を増やすために、どのような努力をしてきたのか。

答　各部の団員からチラシが欲しいとの要望があった際は、勧誘のチラシを配布している。また、新規団員を募集する上での相談にも対応している。

推進 空き家・空き地の有効活用

官民連携による空き家・空き地の有効活用を図られたい。

問　空き地・空き家バンクの登録件数を増やす努力は。

答　空き家は有効活用できる物件であり、移住にも役に立つ。登録をしてもらうように、ＰＲを強くしていかなければならない。

強化 町道の維持管理

町道等の維持管理を強化されたい。

問　町道がだいぶ傷んでいる。今後、町道補修の予算を増やす考えはあるか。

答　町内全域の町道について、道路状況の調査を行う予定。それをもとに来年度の予算編成に向けて検討を行いたい。

9月定例会 一般議案

認定第1号
令和7年度 大郷町一般会計歳入歳出決算の認定について

総括質疑

鎌田 暁史 議員

事業見直しの課題は

問 **無駄な支出や事業の見直しに関して、どのような対応を進めたのか。課題や今後の見通しは。**

答 各課に事業の見直しをお願いしている。縁の郷、ふれあいの家、旧櫻井邸など、今まで進めてきた事業も、より効果的で効率的な推進のために、各課で検討を進めている。

来年度に向けて、できるところから少しずつ見直しを図っていきたい。町民の方々の理解が不可欠であり、丁寧に説明をしながら進めていければと考える。

討論

反対

鈴木 恵子 議員

見過ごせない問題がある

住民投票は、適法かつ公正に行われるべきで、この事案を過去の出来事として終わらせてはいけないと考える。今後の町政運営に生かすことを強く求める。

鎌田 暁史 議員

不適正な支出が含まれる

本決算の中にある、町議会解散の賛否を問う住民投票費と弁護士費用の支出は適正ではない。これら2つの決算を含む、本決算の認定には反対する。選挙管理委員会事務局は、事務処理に不備があったことを認めている。

賛成

金須 新一 議員

予算の執行は適切に処理されている

議長を除く11名の議員で構成した決算特別委員会において、慎重に審査を行った。予算の流用および予備費の充用を随所に認めたものの、予算の執行は適切に処理されているものと判断した。

熱海 文義 議員

この問題だけで反対するということはあってはならない

私たちは町民から負託されて議員になっている。この問題だけで決算を反対するということはあってはならない。全体を考えて行政運営に協力していくのが我々の仕事だと考える。

人事案件 ※下線は新任の方です



教育委員会教育長
関 一男 氏



教育委員会委員
髙橋 秀美 氏

人権擁護委員 三田村道雄（みたむら みちお）氏

教育委員会教育長 関（せき） 一男（かずお）氏

教育委員会委員 髙橋（たかはし） 秀美（ひでみ）氏

固定資産評価審査委員会委員 熊谷（くまがい） 正伸（まさのぶ）氏 熊谷（くまがい） 功（いさお）氏

農業委員会委員 蜂屋（はちや） 文雄（ふみお）氏 相澤（あいざわ） 清美（きよみ）氏 仙石（せんごく） 正（ただし）氏 赤間（あかま） 勘策（かんさく）氏 森合（もりあい） 芳信（よしのぶ）氏 鎌田（かまだ） 勉（つとむ）氏
鈴木（すずき） 明（あきら）氏 佐々木定義（ささき さだよし）氏 髙橋（たかはし） 佳郁（よしふみ）氏 大和田純一（おおわだ じゅんいち）氏 武内（たけうち） 和子（かずこ）氏

監査委員の意見（要約）
より効果的な事業推進を

黒字決算となったが、依然として財政を取り巻く環境は厳しく予断を許さない。

今後の財政運営にあたっては、物価高騰が常態化し先行きが不透明な経済情勢であるが、町民の負託に応え未来ある大郷町に向けて、財政健全化を進めるとともに、限りある財源を最大限に有効活用し積極的な事業推進を図られたい。

改善・要望

・不用額が過大となっている事業が散見される。予算の過大計上は他事業への資金配分を停滞させることから、適切な予算見積もりと年度内執行を図られたい。

・町税の滞納ならびに災害援護資金・奨学資金貸与の滞納解消対策を推進されたい。また、不良債権化した未収返納金の対応を図られたい。

・事業によってどのような成果が得られたかを検証し、効果の薄い事業については見直しや廃止を含めた思い切った判断を図られたい。

・契約手続きや各種手当支給において、ケアレスミスや手続き漏れがあるので、チェック体制の再構築とマニュアルの徹底を図られたい。

・一部の部署や個人に恒常的な残業過多がある。ワークライフバランスに留意した働き方改革を推進されたい。

議案採決結果一覧表

分類	議案名（略称）		採決結果	鈴木安則	赤間繁幸	鎌田暁史	鈴木利博	赤間則幸	佐々木和夫	鈴木恵子	金須新一	田中三恵子	熱海文義	高橋重信	石垣正博
決算認定	一般会計	55億4309万円	認定	○	○	●	●	○	○	●	○	○	○	●	-
	特別会計 国民健康保険	9億760万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	特別会計 介護保険	12億2543万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	特別会計 後期高齢者医療	1億2385万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	特別会計 宅地分譲事業	2287万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	水道事業	①収益的支出：2億7785万円 ②資本的支出：1億4553万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	下水道事業	①収益的支出：3億8249万円 ②資本的支出：1億6732万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

○：賛成 ●：反対 継続：継続審査 退：退席 欠：欠席
※可否同数でない限り、議長（石垣正博）は採決に加わらない。

大雨による災害対策など

9月定例会 補正予算

令和８年度一般会計補正予算（第４号）は歳入歳出それぞれ２３６万２千円を、（第５号）は２億９２４９万２千円を追加し、総額をそれぞれ６０億９３０４万３千円とする。

2550万円 真観寺ため池管理用通路の復旧工事



問 **財源はどこから出るのか。**
答 一般財源からとなる。ため池の安定勾配から外れたところが崩れており、町による単独復旧として対応する。

531万円 防火水槽撤去工事

問 **撤去にあたり、黒川消防本部との相談は。**
答 漏水している状況もあり、地区からの要望により撤去の予算を計上した。撤去について消防署と情報共有している。

5292万円 町道除融雪業務

除雪や凍結防止剤の散布など
除雪は１３９路線、融雪は３８路線。

1210万円 河川総務費

実成川の整備のための測量設計業務費と、西光寺川の護岸整備のための修繕工事請負費。

236万円 災害救助費

熊本地震の被災地に職員を派遣する費用。２名を９日間派遣し、住宅被害認定作業に対応。

主な質疑

高齢者在宅福祉事業（96万円）
問 **おむつ券の助成を障害者施設にも拡充する検討を。**
答 必要性は分かっている。来年度に向けて考えていかなければならない。

中学校環境整備（278万円）
問 **整備の内容は。**
答 テニスコートを駐車場として利用するために、バックネット裏の通路を拡幅する工事を行う。また、校舎裏北側のフェンスが老朽化で破損しており修繕する。

縁の郷施設管理費（103万円）
問 **計上した理由は。**
答 ２月の公募による指定管理者の決定を期待し、当初予算では６カ月分の管理費を計上していた。しかし、指定管理者が決まらず、来年３月までの管理費が不足となったため。

側溝整備工事（770万円）
問 **工事の内容は。**
答 羽生地区と味明地区のそれぞれ１カ所の整備を行う。このまま放置していくと、道路に影響を及ぼす危険性があると考えているところから対応していく。

9月定例会 一般議案

一般議案は８件について審議し、原案どおり可決しました。ほかに、報告３件、諮問１件、同意４件がありました。

【議案第38号】大郷町企業立地促進条例及び大郷町企業立地促進特別奨励金条例の一部改正
進出企業にとってより活用しやすく、交付対象業種を幅広く規定するよう改めるもの。

【議案第45号】工事請負契約の締結について

町民体育館解体工事
工事請負契約金額…49,610,000円（うち消費税4,510,000円）
工事概要…建物等解体・処分
①体育館　鉄骨造　２階建て、延床面積1,660.87㎡
②倉　庫　軽量鉄骨造　平屋建て、延床面積13㎡
③設備等　電気・電灯設備、放送設備、自動火災報知機設備、機械設備等
砕石敷き　2,972㎡
工　　期…議決された日（９月18日）の翌日から令和９年３月26日まで



問 **解体を行う事業者が想定する工期は。**
答 始まりは、契約の準備段階を経てからとなり、令和９年２月頃に終わらせたいとの意向で予定を組んでいる。

議会の主な動き（7/1～9/30）

月　日	用　　務	月　日	用　　務
7/1	建町記念式典	8/27	議会運営委員会
7/2～7/3	宮城県町村議会議長会議員講座（仙台市）	9/2	秋の交通安全県民総ぐるみ運動大郷町拡大会議
7/7	広報広聴常任委員会	9/3～9/18	第３回定例会
7/13	仙台北部道路建設促進期成同盟会総会（富谷市）	9/3	広報広聴常任委員会
7/15	黒川地域行政事務組合議会運営委員会（大和町）	9/6	大松沢地区民体育祭
7/27	宮城県へ道路補修・河川改修要望活動（仙台市）	9/8～16	決算審査特別委員会
7/30～31	宮城黒川地方町村議会議長会正副議長並びに事務局長合同視察研修（福島県三春町、南相馬市）	9/9	おおさとスマートスポーツパーク構想に関する調査特別委員会
8/3	議会改革調査特別委員会	9/12	ふながた若鮎まつり（山形県舟形町）
8/5	町議会解散請求に関する調査特別委員会・おおさと地域振興公社に関する調査特別委員会	9/16	議員全員協議会・議会運営委員会・議会改革調査特別委員会
8/6	宮城県町村議会議員セミナー（蔵王町）	9/17	かわまちづくり事業に関する調査特別委員会
8/9	黒川地区女性防火クラブ研修会（大和町）		町議会解散請求に関する調査特別委員会
8/10	黒川地方市町村議会連絡協議会役員会（大和町）	9/18	秋の交通安全運動開始式
8/17	後期高齢者医療広域連合議会定例会（仙台市）	9/20	敬老会
8/18	宮城黒川地方町村議会議長会定例会議（仙台市）	9/24	吉田川流域溜池大和町外３市３ケ町村組合議会定例会（大和町）
8/19	黒川地域行政事務組合議会定例会（大和町）	9/25	交通安全ゲートボール大会
8/20	戦没者忠霊碑参拝（大松沢社会教育センター）		広報広聴常任委員会
	議員全員協議会・議会運営委員会	9/27	東北方面隊創隊・仙台駐屯地創立 66 周年記念行事（仙台市）

議案採決結果一覧表

	議案名（略称）			採決結果	
第4回定例会	報告第8号～10号			報告のみ	
	諮問第1号			適任	全会一致
	同意第2号～5号			同意	
	議案第38号	企業立地促進条例及び企業立地促進特別奨励金条例の一部改正について		可	
	議案第39号	補正予算	一般会計（第5号） 60億9304万円(2億9249万円↑)	可	
	議案第40号		特別会計 国民健康保険（第2号） 10億2711万円(151万円↑)	可	
	議案第41号		特別会計 介護保険（第1号） 13億7406万円(1882万円↑)	可	
	議案第42号		特別会計 後期高齢者医療（第1号） 1億3144万円(60万円↑)	可	
	議案第43号		水道事業会計（第1号） ①収益的支出：2億8751万円(29万円↓) ②資本的支出：1億8979万円(1053万円↑)	可	
	議案第44号		下水道事業会計（第1号） ①収益的支出：3億9656万円(598万円↑)	可	
	議案第45号	工事請負契約の締結について		可	

（↑）は増額、（↓）は減額　　可：可決　否：否決　○：賛成　●：反対　退：退席　欠：欠席
※可否同数でない限り、議長（石垣正博）は採決に加わらない。

次ページから一般質問　11名が町政を質す！



質問議員	質問件名	掲載ページ
きす しんいち 金須 新一 議員	1．防災道の駅を目指して 2．役場庁舎防犯体制の強化を	P13
あかま のりゆき 赤間 則幸 議員	1．公約の６本の柱はどこへ 2．縁の郷の早期再開を	P14
ささきかずお 佐々木和夫 議員	1．公共施設工事について 2．本町における商業の活性化について 3．竹林対策について	P15
たなかみえこ 田中三恵子 議員	1．指定避難所の整備について 2．道の駅の利便性向上と物販促進戦略について	P16
かまだ あきふみ 鎌田 暁史 議員	1．上下水道料金について 2．ウォーターＰＰＰについて 3．町議会の解散請求署名について	P17
すずき けいこ 鈴木 恵子 議員	1．地域の環境整備について 2．学校給食無償化の公平性について	P18
あつみ ふみよし 熱海 文義 議員	1．旧櫻井邸の活用方法は 2．かわまちづくり事業について 3．スーパーマーケット誘致について	P19
すずき としひろ 鈴木 利博 議員	1．デンワカードシステムの導入について 2．町長選挙公約について 3．旧大松沢小学校体育館の雨漏りについて	P20
たかはし しげのぶ 高橋 重信 議員	1．スポーツＸ社誘致に関する責任は	P21
すずき やすのり 鈴木 安則 議員	1．本町の防災について 2．前川地区の基盤整備再編入について	P22
あかま しげゆき 赤間 繁幸 議員	1．本町の戦略人口について 2．ふるさと納税について	P23

一般質問



防災道の駅を目指しては

総合的に比較・検証を行っている（町長）

きす　しんいち
金須　新一 議員

動画はこちらから▶

問　本年6月の定例会において、町長は「道の駅おおさと」を将来的に防災道の駅にできないか、模索していると発言している。取り組みの現状は。

答　町長　防災道の駅の指定に向けた初動段階として、管轄する県などの関係機関と協議や情報交換を進めている。

問　いくつかの基準をクリアしないと選定されないようであるが、「道の駅おおさと」に不足している要件は。

答　町長　ハード面で「施設本体の耐震性」、「災害時の通信手段」などが不足していると認識している。

問　現状全国で、79の施設が防災道の駅として選定されている。選定を目指している時期は。

答　町長　活用すべき財源の見極めを行い、不足しているハード面の算定や日常的に抱えている課題解決を優先に進め、実現に向けて取り組んでいく。

役場庁舎防犯体制の強化を

問　本年5月13日深夜に税務課のパソコンと周辺機器が盗難された。防犯体制を強化すべきと考える。現時点の防犯体制は。

答　町長　これまでは、開錠後及び施錠前に入退庁確認が行われていない時間帯があった。6月からはそれぞれの時間に警備員が立ち会って確認を行っている。

問　事件後、組織内で再発防止につながる検証等は実施したのか。防犯体制を強化するために、新たな取り組みは検討しているのか。

答　町長　閉庁時の侵入者対策として、新たに感知センサーを設置し、警備体制を強化するために今回の補正予算に計上している。また、不正アクセスや情報漏洩のリスクをアクセス制御で未然に防ぐためのソフトウエアを導入したいと考えている。

問　今年に入って職員の不祥事2件、パソコンの盗難、書類送検の案件が発生しており、大郷町にマイナスのイメージがついている。今後企業誘致や定住・移住に影響を及ぼすと考えるが。

答　町長　町のイメージがマイナスになることは、そうだと思う。今後町民の方々に心配をかけることがないように進めていく。



▲目指せ、防災道の駅

スーパーマーケット誘致は

最優先課題として取り組む（町長）



赤間（あかま） 則幸（のりゆき）議員

◀動画はこちらから

問 本年6月定例会一般質問で、町民と約束した6本の柱が、本当に実現できるのか伺ったが、その後どのように進んでいるのか。

答 町長　公約の6本の柱については、就任後、最重要課題として取り組んでおり、すでに実施を開始している事業もある。

問 実施している事業の内容は。

答 町長　出産一時金の増額、物産館2階のスペースに室内遊び場を設置した。

問 これは、前からオープンにしているところへ、今回遊び道具を追加した状態では。

答 町長　物産館2階の場所は試行的にやっている。今後、遊び場については、もう少し広い場所、安全に遊べる場所、新たな場所を考えている。

問 町民が待ち望むスーパーマーケットは本当に可能なのか。

答 町長　スーパーマーケット誘致については、協議している。

問 今回手を挙げて町長になった覚悟。「絶対やる」という言葉を聞きたい。

答 町長　最優先課題で取り組んでいることは間違いない。何社とも協議をし、今現在、絞って交渉しているとしか言えないのが心苦しいが、「絶対やらせていただく」。

縁の郷早期再開を

問 縁の郷が閉館して2年になるが、その間の維持費は。

答 商工観光課長　維持管理費として、年間530万円の決算額となる。

問 もう一度指定管理者をおおさと地域振興公社へお願いできないか。

答 町長　現段階では、公社は考えていない。



▲道の駅くずまき高原内の魚売り場（岩手県葛巻町）

最低制限価格を下回った場合は

基準に基づき失格となる（町長）



佐々木（ささき） 和夫（かずお）議員

動画はこちらから▶

問 町内に※A等級業者は何社あるのか。

答 町長　3事業者ある。

問 公共工事の入札で、調査基準価格を下回った件数は。

答 町長　調査基準価格を下回った件数は3件で、3件とも低入札価格調査委員会の審議を経て契約している。

問 工事請負契約における設計変更に伴う工事件数および金額は。

答 町長　7年度の入札による工事は30件あり、契約金額に変更があった工事は14件である。契約金額に対して10％以下の増額が8件、10％以上の増額が5件、減額が1件である。

問 最低制限価格を設定していると思われるが、下回った場合の対応は。

答 町長　低入札価格取扱要綱および低入札価格失格基準に基づき失格となる。

商業の活性化

問 移動販売車を導入する考えはあるのか。

答 町長　スーパーマーケット進出企業との連携の下に実施できればと考える。

竹林対策

問 竹を利用した商品開発を行う考えは。

答 町長　メンマやタケノコ掘り体験等が考えられるが、ビジネスモデルとして確立するまで課題がある。竹林の活用を今後も検討していく。

問 竹の粉砕機を購入する考えは。

答 町長　町が機械を所持した場合、メンテナンス費用やけが等の責任所在が想定されるので、機械購入補助やリース料の補助を検討する。

※A等級…公共工事の競争入札に参加する業者のうち、経営規模や過去の実績などの評価基準が最も高く、大規模な工事を任せられる最高ランク。



▲生活インフラを守る公共事業

指定避難所の整備を

優先度を整理し検討（町長）



田中（たなか） 三恵子（みえこ） 議員
◀動画はこちらから

問 令和7年9月定例会で指定避難所の冷房設備について提案し、検討するという答弁をいただいた。その後の状況は。

答 町長　緊急性の高い課題と認識し、できるだけ負担を抑えた導入手法を検討しているが、財源の確保や設置施設の優先度などを整理し、具体的な検討を進めていく。

問 災害用備蓄水としてウオーターサーバーの常設配置をしては。

答 町長　500㎖ペットボトルで対応し、毎年補充している。

問 自販機設置のない施設に導入すべきでは。

答 総務課長　維持管理や普段の対応も含め検討する。

問 自助・共助・公助による具体的な備えについてチェックリストを作成して見える化を図り、不足や課題を明確にして対策を進めては。

答 町長　自助・共助に関するチェックリストを作成していく。指定避難所の運営についても過去の経験を踏まえ進める。

問 対応はいつまでにか。

答 総務課長　今年中にできるだけ早く公表したい。

問 住民参加で進めては。

答 総務課長　まずは町で作ってお示ししたい。

道の駅の販売促進戦略を

問 町民の需要が高い魚の冷蔵コーナーを設置しては。また、大郷の名産品を紹介する特設コーナーを設けた地方発送もアピールする。大郷の牛や野菜を使った数量限定メニューの提供、特売日などを書いたイベントカレンダーを設置するなど、戦略的アピールをしては。

答 町長　ご提案いただいたことは効果的なアプローチと認識。具体的な販売促進や売り場作りについて、地域振興公社に今回の提案内容を速やかに共有し協議していく。

問 2階の利用者数も増えている。2階全体の空調設備の完備や衛生管理、下足箱の設置等により、利便性の向上を図るべきでは。

答 町長　財政負担や長寿命化計画などと照らし合わせて総合的に判断していく。

問 下足箱など、町内の業者等と連携して作成を依頼し、社会的資源として顕彰も含めて考えては。

答 商工観光課長　設置について公社と協議を進める。





道の駅くずまき高原：▲
名産品や冷凍魚コーナー▶

水道料金が高い要因は

1戸あたりの維持管理費が高い（町長）



鎌田（かまだ） 暁史（あきふみ） 議員
動画はこちらから▶

問 水道料金改定の見通しは。

答 町長　「水道事業料金改定支援業務」を発注し、具体的な料金改定の試算・検証を進めている。

問 メーター口径13㎜の基本料金が県内第8位となっている。水道料金が高い要因は。

答 町長　本町は人口密度が比較的低く、給水人口あたりの管路延長が長くなる。1戸あたりの維持管理費や布設替工事等の費用負担が高くなり、基本料金を高めに設定せざるを得ない。

問 内部留保の活用、一般財源からの繰入などで引き上げ分のカバーが可能か。

答 町長　内部留保は災害時等の緊急対応費の役割をもっており、料金引き下げや値上げ回避を維持し続けるのは困難な見込みである。

恒常的に一般財源から繰り入れて料金を引き下げることには限界がある。

※ウォーターPPP

問 導入の見通しは。

答 町長　民間ノウハウの活用範囲やその効果について精査を進めていく。

問 管理・更新一体マネジメント方式（レベル3・5）の事業を開始した場合、10年後に公共施設等運営事業（コンセッション、レベル4）に移行するのでは。

答 町長　レベル3・5の事業開始が直ちに10年後のレベル4移行に直結することを前提とするものではない。

問 推進は慎重に検討を。

答 町長　国の補助要件や他自治体での先進事例・効果を見極めながら慎重に検討を進めていく。

町議会の解散請求署名

問 選挙管理委員会の会議中に、委員に威圧的な言葉で対応した件について、会議録の確認や参加者への聞き取りは。

答 町長　会議録に発言の記載はなかった。

各委員に確認したが「威圧的な言葉での対応はなかった」との回答をいただいている。

問 選管の独立性や中立性確保の検証は。

答 選挙管理委員長　選管としてより審議を尽くし、再発防止に努めていく。

問 事務処理の不備によって予算を浪費した責任は。

答 町長　責任を痛感しており、町民の皆さまに深くお詫びする。調査特別委員会の結果等も考慮し、町として責任の所在を整理していく。

※ウォーターPPP（水の官民連携）…水道や下水道の維持管理を行政と民間企業が連携して取り組む仕組み。



▲安定的な水の供給を（中村第2配水池）

地域の環境整備を

住み良いまちづくりを推進（町長）



鈴木（すずき）　恵子（けいこ）議員
◀動画はこちらから

問 人口減少・高齢化が進む中、地域が担っている除草作業などについて町は今後どのように解決していくのか。

答 町長　各行政区での課題や危機感をしっかりと共有し、地域と行政が協働で維持・管理にあたる持続可能な仕組みの構築に取り組む。

問 今後、地域だけでは対応できなくなることを見据え、環境整備の支援や、町による対応の拡充を考えるべきではないか。

答 町長　行政区ごとに除草作業の困難な場所や具体的な課題の把握に努める。その上で、資機材の貸出支援など地域の負担軽減に直結する具体策を検討していく。

問 側溝や路肩など安全に作業できるよう、道路環境そのものを整備すべきと考えるが。

答 町長　構造上の不備により、作業に危険や過度な負担が生じている現場の声は極めて重要であると受け止めている。

作業者の安全確保と将来的な維持管理コストの削減を見据え、舗装の改修や側溝の整備など、改善を進めていく。

学校給食無償化の公平性

問 やむを得ない事情により給食を食べることができない児童・生徒については、来年度から「給食費相当額」を支給する予定と伺ったが、国の交付金は、小学生が対象となっており、中学生は給付対象外となるのか。

答 町長　令和9年度から「給食費相当額」を支給する方向で制度設計を進めている。支援の公平性を図る観点から、中学生についても同様の支援対象とする方針で準備を進めている。

本町としては、多様な事情を抱える児童・生徒や保護者に対し、支援漏れが生じることがないよう、引き続き公平かつ適切な施策の推進に努めていく。

問 中学生になると、私立や町外へ進学する場合もあるが、その方々への対応は。

答 学校教育課長　現在制度設計を進めている。

問 ケアハウス通学者で給食希望者がいた場合の対応については。

答 町長　「学校給食衛生管理基準」において厳格な衛生管理が求められ、現時点では難しい状況である。給食提供に代わる措置として、「給食費相当額」の支給対象とする方向で検討を進める。



▲安心安全な側溝整備を

旧櫻井邸の活用は

今年度中に方向性を明確にする（町長）



熱海（あつみ）　文義（ふみよし）議員
動画はこちらから▶

問 今の建物を見れば、借りる人がいないので解体すべきでは。

答 町長　元所有者との約束があるので、意向も聞きながら、解体も含め敷地全体の活用について考えていきたい。

問 旧櫻井邸の年間の管理費は。

答 まちづくり政策課長　令和7年度は草刈り業務で4万9000円。そのほかに排水施設の整備工事に389万6200円である。

かわまちづくり事業

問 レジリエンスベースの盛り土が進んでいないがどうなっているのか。

答 復興推進課長　地質調査は完了している。盛り土は令和12年までかかる。

問 盛り土完了後の活用方法は。

答 復興推進課長　これからモニタリングしながら検討していく。

問 河川敷にパークゴルフ場の計画があるが再考しては。

答 復興推進課長　かわまちづくり協議会で審議し取り止めと決定した。理由は近隣20㎞圏内に6ホールあり費用などもかかるので取り止めとなった。

問 その敷地をどのようにする計画なのか。

答 復興推進課長　多目的広場とドッグランの整備を考えている。

スーパーマーケットの誘致

問 スーパーマーケットの規模は。

答 町長　最低限町民が生活できるようなスーパーの進出に期待している。

問 肉、魚が販売できる会社なのか。

答 商工観光課長　肉、魚が販売できる企業で、現在協議を進めている。

問 移動販売も一緒にやれるのか。

答 商工観光課長　移動販売が必要であると説明はしている。

問 スーパーと移動販売を分けて考える方法もあるのではないか。

答 町長　その方法もあると思うが、町に来ていただける企業を最優先で検討していく。



▲どうする公共施設　旧櫻井邸

旧大松沢小学校体育館の雨漏りは

応急修繕では対応が困難（町長）



鈴木（すずき）　利博（としひろ）議員

◀動画はこちらから

問　施工後も雨漏りが発生している。保証ならびに、今後の体育館の具体的な修繕や建て替えについて伺う。

答　**町長**　本施設は築46年が経過し、屋根や外壁等の機能が低下しており、雨漏り等のリスクが高まっている。昨年行った応急修繕については、一定の効果があったが、屋根全体にサビや劣化などが見受けられる。修繕箇所以外からの漏水の可能性も否定できない。

保証については、契約不適合の場合等の補修について、受注者と慎重に協議をしていく。今後も費用を抑えつつ確実な防水効果が得られる修繕方法について、引き続き調査・検討していく。

その結果、応急修繕では対応が困難と判断される場合は、近隣施設への機能集約や解体を含めた検討も必要。

※デンワカードシステムの導入

問　大郷中学校にて今年3月末で公衆電話が撤去され、生徒が自宅へ連絡する際に、不都合が生じている。これを打開するために、公衆電話の代替として「デンワカードシステム」を導入してみては。

答　**町長**　職員室の固定電話を貸し出す運用を行っている。教職員の立会いの下で対応することで、状況を確実に把握し、保護者への適切な初期対応にもつながることから、現時点では必要な連絡手段は確保できると考えている。

町長選挙公約

問　公営学習塾の進捗状況および具体的な時期は。

答　**町長**　本年6月に実施した保護者へのアンケート調査結果を踏まえ具体的な制度設計を進めている。令和9年度内の開始を目標としている。子どもたちの未来を拓く重要な教育支援である。

問　学習塾で郷土愛も学ばせてはどうか。

答　**町長**　子どもの時代から、やはり郷土愛というものの、あるいは、町に対する誇りというものを持っていければと思っている。

※デンワカードシステム…撤去が進む公衆電話の代替として導入されている電話機。一般的なテレホンカードではなく、施設専用のカードを購入して利用する。



▲1日も早い対応を望む

町を混乱させた責任は

町民の皆さんに深くお詫びする（町長）



高橋（たかはし）　重信（しげのぶ）議員

動画はこちらから▶

問　スポーツX社を誘致すべきと提案されたが否決、再度提案を行うが再度否決。町が中学生を含む住民アンケート調査を行った。さらに議会解散を図るべき署名運動が実施され、町は住民投票を執行した。

議員9名が署名は不正と判断し、令和7年3月18日仙台地方裁判所に3人の議員が提訴、後に裁判所から住民投票の執行停止を受けた。一年後の2月25日、裁判所から町が敗訴との判決があり、議員側が勝訴。全国でも話題となり、町では町民同士の対立も生まれた。町を混乱させた責任は誰が取るのか伺う。

答　**町長**　責任を痛感しており、町民の皆さまに深くお詫びする。

問　スポーツX社誘致にかかった経費はいくらか。

答　**町長**　SSP事業用地の測量及び地質調査、造成設計の業務委託料6556万9900円を支出している。

問　これまでの説明を聞いていた中では、9700万円ぐらいあったと思う。内訳は。

答　**復興推進課長**　655万9900円の内訳は、測量1724万4700円、地質調査、造成設計が48万5200円となる。

問　裁判関係にかかった費用はいくらか。

答　**総務課長**　裁判費用として、弁護士に55万円支払いした。

問　ほかに調査や設計の費用は。

答　**地域整備課長**　以前、復興再生ビジョンに基づく事業費は1千数百万円を支出していた。

問　選挙管理委員会の委員長および委員の方々は継続か辞任するのか伺う。

答　**選挙管理委員長**　裁判の判決が確定し、不足があったとの指摘を真摯（しんし）に受け止め、町民や議会の皆さまにご迷惑をおかけした責任を取り、委員長を辞任する。私以外の委員については来年までの任期を全うしていただくようにお願いした。



▲裁判所から町が敗訴の判決

防災道の駅おおさとの早期実現は

今年度中に方向性を固める（町長）



鈴木（すずき）　安則（やすのり）議員
◀動画はこちらから

問　「防災道の駅おおさと」の早期実現について伺う。

答　町長　現在、防災道の駅の指定に向けた初動段階として管轄する県などの関係機関と協議や情報交換を進めている。本町にとって現実的かつ最も有利なロードマップにより、関係機関と連携しながら実現に向けて取り組んでいく。できれば今年度中に方向性を固めていきたい。

問　防災士育成と組織化は進んでいるのか伺う。

答　町長　行政区の防災力向上のため、周知方法を強化し引き続き資格取得に補助金を交付していく。

　組織化については、意見交換会を開催し、防災士からは組織化より研修や意見交換の場を求める声があった。

　また、町内で、すでに防災士資格のある方の中には、行政区の防災活動に協力いただいている方もいるので、広報等で声掛けし、防災士の輪を広げていきたい。

問　防災士の有資格者は何名か伺う。

答　総務課長　一般の方が5名、職員が4名。

問　今年度の防災士取得予定は何名か。

答　総務課長　今年度資格取得した方はいない。10月と1月に資格を受けるため案内を行政区長や広報を通して広く周知していきたい。

問　各地区の自主防災組織体制について伺う。

答　町長　行政区で組織され、区長を中心に災害発生を想定した訓練を行っていただいている。

問　町として各地区の防災組織に対してどのようなことを望み、期待しているか伺う。

答　総務課長　平時は町民の防災意識の向上のため、防災訓練の実施。有事は一時的な避難所の運営、安否確認をお手伝いいただければと考える。

前川地区 基盤整備再編入

問　60ヘクタールの地権者の同意を得て、関係機関との協議に入っているが、内容について伺う。

答　町長　SSP構想予定地だった60ヘクタールの全ての権利者は、ほ場整備へ再編入を希望している。現在は、300ヘクタールの権利者から60ヘクタールの編入について理解を求めるよう県より指示があり、説明会を開催し、意向の取りまとめをしている。

問　前川地区（300ヘクタール）の意向確認によっては再編入できないこともあり得るのか伺う。

答　町長　地域の皆さまがそれを望まない場合、もしくは望まない方が多数の場合は、再編入できない可能性が高くなる。



防災道の駅に選定された道の駅しちのへ（青森県七戸町）▶

戦略人口を達成するには

安心して子育てできる環境（町長）



赤間（あかま）　繁幸（しげゆき）議員
動画はこちらから▶

問　将来展望人口を2035年に7000人と設定するとともに、人口構造の若返りを目指している。

　そのため2030年の合計特殊出生率1・6を目標としているが、達成に向けての取り組みを伺う。

答　町長　今年4月に開設した「子ども家庭センター」による伴走型相談支援や産後ケア事業の実施、保育料の無償化、医療費助成などにより、子育て環境の改善を図っている。今後は、出生率向上に直結する施策をさらに強化していく。

問　就労の希望を実現できる雇用環境を創出するための取り組みを伺う。

答　町長　若年層の流出を抑え、定住につなげるためには町内で働ける環境を整えることが不可欠である。

　企業の誘致や人材確保に向けた産業説明会、就労相談や職業紹介などを行っている。今後は企業等連絡協議会の設立、保育環境と就労支援を連動させた取り組みを進めていく。

問　移住定住を促進するための宅地開発やアパート整備、空き家等の活用について取り組みを伺う。

答　町長　移住定住の促進は、出生率向上や若年層の就労環境整備と密接に関係しており、人口構造の若返りに向けた重要な柱と認識している。

　空き家バンクの運用や、住宅取得支援制度を活用し、移住希望者の受け入れを進めている。今後は宅地開発やアパート建設で民間事業者との連携強化、若年層向け賃貸住宅など住環境の整備に努めていく。

ふるさと納税

問　令和7年度の受入額と流出額を伺う。

答　町長　一般のふるさと納税寄付金の受入が1688万円で、大郷町民による他自治体への寄付額は1230万円であった。

問　道の駅の商品を返礼品として、現地決済を行えないのか。

答　町長　利用者にとっては気軽にその場で寄付ができ、食事代や商品代に使えるメリットがあるが、事業者の協力が不可欠になるので、協議を検討する。



▲保健センター内に「子ども家庭センター」を開設

第7回議会報告会

ご質問・ご意見にお答えします

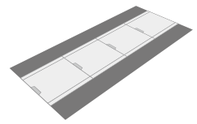
6月27日・28日に町内４地区で開催した議会報告会では、たくさんの町民の皆さんから貴重な声が寄せられました。その場でご回答できず、持ち帰りとしたものがあり、町（執行部）に確認した内容と結果をお答えします。
議会では、お寄せいただいたご意見・ご要望を今後の町政や議会活動に反映するように努めてまいります。

町からの回答

側溝への蓋掛け

問 **すくすくゆめの郷こども園沿いの町道（坂道）に側溝があり、雨が降ると、ゴミがたまりやすくなっている。成田川側の側溝に蓋をかけてほしい。**

答 側溝への蓋掛けにつきましては、部分的な対応ではなく全体的な解決を図るため、まず事業費の全体規模を把握・算定いたします。
その上で、全線設置に向け、必要な予算の確保も含め、町として計画的な調整を進めてまいります。



町道の舗装

問 **大松沢の町道で、10年以上、毎年砂利を敷いて穴をふさぐ対応をしていただいているところがある。舗装してほしい。**

答 当該路線は、道路構造の規格を満たす町道へ改良することで、舗装新設が可能となります。
沿線地権者の同意を得て、地区全体の総意として区長から要望をいただけましたら、舗装を含む規格改良工事について、財政面も含め町として前向きに調整してまいります。

町道周りの草刈り

問 **町道の周りの草刈りは、町に言わないと対応してもらえない。一部で住民がやっているところもある。ルールや優先順位はどうなっているのか。**

答 町道の除草・草刈りにつきましては、交通の視界確保と安全な通行を最優先とし、２車線道路や交差点、カーブ等の見通しの悪い区間、通学路などを優先して、町が定期的に作業・委託を実施しております。それ以外の町道については、地区の皆さまや道路愛護会のご協力をいただいており、深く感謝申し上げます。
今後、新たな維持管理モデルや協力体制の構築に向け、話し合いを進めてまいります。



▲雑草が生い茂る町道周り

基盤整備

問 **水田の基盤整備について町全体ではどのように考えているか。例えば、大松沢の上村地区について、将来的に基盤整備事業の対象とする考えはあるのか。**

答 基盤整備事業は、町が主体的・計画的に行うのではなく、地域の皆さまが合意形成を図った上で手を挙げることから始まる事業です。
まずは地域で話し合いなどを行い、合意形成を図った上でご相談いただければと思います。

消防ホース格納箱

問 **町として撤去を決定されたが、事前に町民に対して撤去の理由も含めて詳しい説明が欲しかった。**

答 火災時、消防署員は格納箱のホースを使用せず、消防団員も小型ポンプ積載車等とともにホースを持ち込み使用しているため、格納箱内のホースは使用されていません。
町では、ポンプ小屋のホースを適宜更新することで消防団と協議し、格納箱の撤去を決定しました。
周知に努めてきましたが、町民の皆さまへの説明不足についてお詫び申し上げます。

かわまちづくり

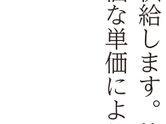
問 **災害復興（賑わい拠点）・防災拠点という国の事業として、成功するように進めてほしい。**

答 令和元年台風第19号で甚大な被害を受けた中粕川地区では、大雨時に車やトラクターの一時避難場所としても利用できる「レジリエンスベース」の整備を国が進めております。
ご意見を踏まえ、被災された皆さまの目線に立ち、いざという時の安心・安全を守れる施設となるよう、引き続き国と連携して事業を進めてまいります。

SSP構想

問 **構想は中止となったが、スポーツX社にペナルティーはないのか。**

答 SSP事業の中止につきまして、町民の皆さまにはご心配とご迷惑をおかけしております。
事業の撤退については、令和7年9月19日にスポーツX株式会社の代表取締役と町長が協議を行い、双方合意の上で事業終了を決定しました。そのため、同社に対する違約金等のペナルティーは生じておりません。



老人クラブへの助成金

問 **人数制限を撤廃してほしい。**

答 地域で高齢者を支え合う大切な活動を今後も継続するため、実態と乖離（かいり）している人数制限の要件（20名以上）は、緩和に向けた要綱等の見直しを速やかに進めてまいります。

縁の郷

問 **今後の活用方法は。**

答 令和7年2月および令和8年2月に指定管理者の公募を実施しましたが、いずれも応募がありませんでした。
この結果を重く受け止め、現在は施設一体の指定管理にこだわらず、個別施設ごとの利用や賃貸借など、従来の発想にとらわれない幅広い活用方法を視野に入れ、柔軟に検討を進めております。



▲縁の郷サテライトオフィス

地域おこし協力隊

問 **OBを主体とした組織編制がスタートしている。面接や活動管理を対応されているが、丸投げではないのか。**

答 OBを主体とした組織編制は行っておりません。隊員の面接や活動管理は町が行っており、月1回の定期ミーティングのほか、希望に応じて随時面談を実施しています。
担当職員の不足などで全ての対応が難しい場合には、その一部をサポート業務として委託しております。

太陽光発電設備

問 **保健センター前にある太陽光発電設備について、業者と町との間でどのような契約となっているのか説明してほしい。また、お金の流れはどのようになっているのか。**

答 CO2排出抑制と災害時の避難施設等への電力供給を目的に、令和3年7月1日に太陽光発電設備等の整備に関する契約を締結しました。
契約期間は20年で、平時は役場庁舎の自家発電電力として利用し、災害時は系統から切り離して、蓄電システムと併せて電力を供給します。使用料は東北電力より安価な単価により支払っています。

その後どうなった…

第98回 tracking report

追跡リポート





太陽光発電の安全対策と管理は

これまでの意見・提言等

・太陽光発電の安全対策と管理は。
（令和７年９月定例会　一般質問より）

事故防止のため発電所内に入ることができないよう柵を設置するように指導している。また、除草管理については、さまざまな問題を引き起こす可能性があるので、適正な管理を行うよう求めている。
（令和７年９月定例会　一般質問より）

その後の対応と今後の計画

町では、開発指導要綱に基づき、立入防止対策として施設周囲へのフェンス等設置の有無や、除草対策として施工時の防草シート敷設などの対策や定期的な除草の実施について確認するなど、事業者に対し適正な管理を行うよう指導しています。

これまでの指導により、対象開発区域においては、フェンスの設置を確認しています。除草についても施工時の対策や定期的な草刈作業のほか、巡回や地域の声に基づき随時作業を要請しています。

引き続き、住民の安全確保と生活環境の保全に向け、厳格な指導・管理に努めます。

まちづくり政策課



▲整備された太陽光施設

遊休農地の解消を

これまでの意見・提言等

・遊休農地や耕作放棄地が増加していると思われるが農作業ができないと相談があった場合の対応を。
（令和７年３月定例会　一般質問より）
・遊休農地の解消に向けた取り組みを推進されたい。
（令和８年３月定例会
予算審査特別委員会　意見提言より）

農地利用状況調査によると令和５年度末の遊休農地は約85.5ヘクタールとなっている。営農継続は難しいといった営農相談が増加している。
（令和７年３月定例会　一般質問より）

その後の対応と今後の計画

「今後、農作業ができない」と相談があった場合は、まずはその地域の担い手に相談し、できるだけマッチングできるように対応しており、近年は４例ほどマッチングすることができました。

今後の対応については、引き続き、相談があった場合は地域の担い手へのマッチングを進めていくとともに、併せて、農業委員、農地利用最適化推進委員による農地パトロールを強化し、遊休農地や耕作放棄地が増加しないよう、未然に歯止めがかけられればと考えています。

農業委員会



▲農地パトロール風景

教育民生 常任委員会

6/11 22~23

こども家庭センターについて



▲静岡県吉田町役場にて

【調査の概要】

令和８年６月11日（木）、役場３階第３委員会室において、町民課長（センター長兼務）により本町におけるこども家庭センターの現状と課題等について説明を受け調査した。さらに、22日（月）に静岡県清水町役場、23日（火）静岡県吉田町役場を訪問し、調査を行った。

【意見】

（１）こども家庭センター（新設）：児童福祉、母子保健の一体化

妊娠から出産・子育て、０歳から18歳までの子どもに関する切れ目ない一体的支援の現状は、複雑化・多様化している。専門職の増員や、経験を有する専任のセンター長登用など、支援の質を維持・確保できる人事環境を構築されたい。

（２）ハイリスクケース・複数課題ケースの増加

訪問支援員による家事や育児支援、一時預り（緊急保護や育児疲れ）などの支援策も検討されたい。

（３）伴走型支援の困難さ

対象者と一緒に現状把握と支援目標を共有するサポートプランは、作成に時間を要し、同意が得られない場合もある。発達・育児相談、こども園や小中学校、児童館などとの連携・情報共有を継続し、サポートプラン作成や合同ケース会議を積み重ね、運用精度を強化されたい。

（４）職員の心身の負担軽減・メンタルケア

担当を複数人制とし、チームで情報共有し方針を決定する。ストレスチェックや個人面談の機会を増やす。町外機関との交流や相談などにより、職員のメンタル面のケアを図られたい。

次回は「学校教育の現状について」を調査します。

総務産業 常任委員会

6/17~19

農業振興について調査



▲千葉県多古町役場にて

【調査の概要】

令和８年６月17日に千葉県多古町役場、６月18日に千葉県睦沢町役場を訪問し、農業振興について調査した。

多古町では、農産物のブランド化、販路拡大、新規就農者の受け入れ等の観点から調査を行った。睦沢町では、６次産業化、地産地消等の施策を確認し、道の駅を核とした地域活性化策について併せて調査を進めた。

【意見】

・本町産の「ひとめぼれ」や「ササニシキ」のブランド化を検討されたい。本町独自のブランド名を考え、高付加価値米と位置づけて、ふるさと納税の返礼品としての提供を推進されたい。
・農産物の販路拡大を支援されたい。農業者、農業法人、農業者団体を対象に商談会、展示会などへの出店費用の補助を検討されたい。
・地域農業を支える担い手の育成、確保が急務となっている。本町農業のＰＲ、新規就農者の発掘、育成等を目的として活動するグループの組織化を進められたい。
・６次産業化に向けた商品開発について、専任の担当職員の配置を検討し、具体的な商品数の目標を掲げて推進されたい。
・道の駅おおさとを防災拠点とする施策を推進されたい。
・道の駅おおさと駐車場をキャンピングカー等を対象とした有料車中泊スペースとして活用する事業について検討されたい。

次回は「河川改修について」を調査します。

住民の声

子育てを楽しめる町に



小池（こいけ）　ゆら さん
（味明）

私は、現在大学四年生で、一児の母です。一昨年結婚と出産を経験しました。勉強と育児で忙しい毎日ですが、育児は多くの人の理解と支援をいただきながら、ここまで来れたことに感謝しています。

町の子育て支援にも大変救われました。特に保育料の無償化は、学生の私にとってありがたい限りです。子育て支援センターの行事にも参加してきました。楽しく過ごしながら相談できる場所や、先生たちとのつながりもできてほっとしました。ありがとうございました。

育児は孤独になりがちです。悩みながら子育てをされているママ達もいると思うのです。心に余裕がない時ほど、自分から情報を探したり、支援の場に出向いたりするのは難しいものです。だからこそ今の素晴らしい子育て支援をさらに充実させ、必要な人に届くよう積極的に発信していただきたいです。

「一人じゃない」と感じられる人と人とのつながりがあり、子育てを楽しめる大郷町になる事を願っています。

8/6 宮城県町村議会議員セミナー

「地方議会におけるハラスメント対策と議員活動における SNS 利用上の注意点」

弁護士　荻野　泰三　氏

場所：蔵王町
ふるさと文化会館（こざいんホール）



7/27 令和８年度 宮城県への道路補修・河川改修等に関する要望活動

要望先
- 宮城県土木部
- 宮城県仙台土木事務所

要望内容
- 大郷町内における県道の舗装補修及び県管理河川改修、浚渫等について
- 防災道の駅について



次回定例会

予定

12月1日(火)から
午前10時～
12月4日(金)まで

みなさんの傍聴をお待ちしています。

ライブ中継と録画を動画サイト「YouTube（ユーチューブ）」にて、配信しています。右記のQRコードよりご覧になれます。

編集後記

今年は各地で大雨災害が多発しておりました。本町でも長雨の影響があったと感じております。

今回の広報紙は7年度の決算を中心に構成されています。議会では委員会を開き、役場各課の決算内容を審査します。その中で様々な質問・意見が出てきますが、載せきれないのが残念です。お時間のある方はぜひ傍聴におこし下さい。

本年も残すところふた月となります。皆さまには体調を崩さぬよう、どうかご自愛ください。

赤間　繁幸



広報広聴常任委員会
委員長　高橋　重信
副委員長　鎌田　暁史
委員　鈴木　安則
赤間　繁幸
鈴木　恵子
田中三恵子

発行責任者／大郷町議会議長 石垣正博
編集／広報広聴常任委員会
印刷／有限会社中村印刷

〒981-3592　宮城県黒川郡大郷町粕川字西長崎5番地の8
TEL022（359）5513　FAX022（359）3287
大郷町ホームページ　https://www.town.miyagi-osato.lg.jp/